

## 2学期終業式

令和5年12月22日

様々な挑戦と成果、成長のあった2学期が終わります。

終業式は体育館で3学年ともが一堂に会して実施をする予定でしたが、寒気の影響で冷え込みが厳しかったため各教室に配信する形で終業式を実施しました。式の中で、生徒指導部長の先生は次のような話をされました。

- ・これまで校内で校則の見直しについて議論をしてきた。ただし、本校は、頭髪、制服に関しては、就職試験、進学試験に耐えうるような身なりを普段から意識して整えていこう。
- ・各学年とも、来年度のそれぞれの目標に向けて取り組んでほしい。3年生は今から入試がある人は目標を実現し、皆がそれぞれの次の人生のステージに進んでほしい。2年生は3年生として学校を引っ張り、また希望進路が実現できるように、1年生は中核学年として4月に入学してくる後輩に本校の伝統を教えられる存在になってほしい。
- ・年末年始、1年間を振り返って、新たな気持ちで新年を迎えてほしい。また、事故などにもくれぐれも気をつけてほしい。
- ・SNS等で人権や著作権などを侵害する行為には特に注意してほしい。
- ・冬休み何かあれば連絡、相談してほしい。



### 2学期終業式 式辞

皆さんおはようございます。

2学期初めに、人間はひとから学ぶことによって成長するので、見本となるような尊敬できる人がいる人はいいですねという話をしました。また、私にも本校の尊敬できるベテランの先生が何人もいますよという話もしたと思います。また、尊敬するということは人の良い面を見ようとするに通じるので、友人の良い面を互いに認め合いながら、良好な人間関係を作るとともに、互いに成長しあうような学校にしていきたいと思いますという話をしました。簡単に言うと、「他者から学ぶという話」でした。

今日は、「自分1人でのいる時の学びと成長」という話、つまり、自分の「1人の時間の使い方」の話です。「外側」のことに對して、「内側」の話です。

皆さんは1日を基本的に外の世界で過ごします。

朝、家を出て、学校に来て、授業を受けて、部活動もするし、行事もあるし、友人とも交流します。それは皆さんにとって経験です。

経験の中には、挑戦することも含まれています。

授業を受けて試験に挑戦する。部活動で練習し大会、コンクールに出る。

準備を経て行事に臨む。個人的な自分の課題だと思うことに挑戦する。

しかし、経験、挑戦するだけでは、自分の中に残る者は少ない。ここからは、「内側」の話です。大事なのは、経験しっぱなしではなく、経験の後の「振り返り」です。

アメリカのデービッド・コルブという人の成長について研究をつづけた人は言っています。

経験したことをもとに振り返り、何らかの教訓や「こうすればうまくいく」という方法論を見つけ出すことが重要だ。そして、その次に大事なのは、「こうすればうまくいくのでは」という発見を、新しい状況に試してみることに、適用させることだと言っています。

経験をして「うまくいく方法」を発見する。それを「自分のモノにする」「身に着ける」＝定着ですね。そして、あらゆる場面でそれができるように、また、新しい場面でも応用できるようにすると、経験したことが、次に生きる。経験したことで能力が確かに高まる。経験を学びに変え成長するということはこういうことなんです。

実は、これは、皆さんも、日常で必ずやっています。

一番身近なのは授業と家庭学習。学校で学んだことを家で、振り返って定着させ、違う問題で試す。さらに難しい問題、入試問題にチャレンジする。授業で学んだことが、そこにつながれば成長につながる。ポイントは自分の内側、一人でやることです。友達と一緒に勉強してもだめ。最近のある学年の学年通信に、「勉強は一人でやれ」と書いてあったがそのとおりです。

また、一番わかりやすいのは、部活動ですね。

スポーツを例にとると、サッカーでもバスケットボールでもいいのですが、試合でいいプレーができた。なぜできたのは振り返り、その時のポイントを見出し、定着させると、次からはコンスタントにできるようになる。皆さんも無意識にやっているのですよ。

コルブさんの、「経験学習論」という理論は、多くの人の成功モデルを分かりやすく示しただけなのです。

そして、今皆さんは、学習や部活動、どの他の外の活動をもとに、振り返り、成長することを繰り返すことが、今の成長につながるだけでなく、将来、仕事で、社会で、日々の経験を成長・成功につなげるための方法を体験的に学んでいるんですよ。将来の仕事や社会での役割に、教科書はありません。自分で振り返って学ぶしかないんです。

そして、この2023年の1年間の様々な経験、挑戦を振り返って、教訓や発見をもとに、来年の目標を立てるのは今です。この年末、1人の時間をとって、1年間の総括的な振り返りをすべきときは今です。

これは孤独な作業です。

よく、人間は一人の時に成長するといわれます。テレビも消して、スマホもしまつて、内省、振り返りと教訓を整理し、次の挑戦への意思を固める。それが今です。

今年何が実現できたのか、そして何ができなかったのかを整理し、来年への目標を思い描いてほしい。ぼんやりとでなくできるだけ具体的に。

ある面だけでなく、学習、部活動、進路、考え方も、人間としても。3年生なら卒業後の次のステージのことを。

そうして、新年を迎えてください。新鮮な気分で。

1年の計は元旦にありと言います。

私は、それは、1月1日はきちんとしなさいなどというより、そういう決意をもって元旦を迎えたかという意味にとっています。

今年より素晴らしい君になるために、良い年末年始を送ってください。

2024年1月9日、新たな決意をもって集まり、スタートを切ることができることを心から楽しみにしています。以上、終業を迎えるにあたっての話を終わります。

よい新年を迎えてください。